

令和元年度第7回11月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 令和元年11月13日(水) 午前10時30分

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員6名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	竹内明子
	委員	河又弘子
	委員	藤澤 勝
	委員	富田哲夫
	委員	小祝章二

局側出席者名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	編成部長	大谷佳久
	報道制作部	松井里恵

4. 議 題

(1) 栃木放送タギル「まついじんの部屋」について

毎週月曜 11:40~11:55

8月19日、10月7日、10月28日 放送 3回分

報道制作局 松井里恵

(2) その他

5. 議事内容

(1) 栃木放送タギル「まついじんの部屋」について

毎週月曜 11:40～11:55

8月19日、10月7日、10月28日 放送 3回分

報道制作局 松井里恵

試聴番組：放送した番組を予め試聴。

議題説明：報道制作部松井が番組の企画・制作内容について説明した。

平日午前中のワイド番組「栃木放送タギル」の中のゲストコーナー。昼前のゆったりとした時間に様々なジャンルの方々から、趣味や情熱をもってやっていることなどにスポットを当てて、井戸端会談的に話を聞く。宣伝などの目的を持たずに番組に出演してもらっている、などと番組内容を説明して審議に入る。

各委員からは、

- 気軽に聴けるコーナーだと思う。ゲストはどのように選んでいるのか。個人的なつながりだと幅が狭くなる。趣味の話ゲスト全員に聞くなど狙いははっきりした方が良い。
- 趣味の話や仕事の話など様々で行き当たりばつたりのように感じる。コンセプトを1つに絞った方がわかりやすいのではないかと。狙いがはっきりしていない感じがする。
- 話題は趣味や仕事などそれぞれで良いと思う。いろいろな活動をしている方がいることがわかって良い。タイムリーな方の紹介でなく面白い。タギルという番組タイトルがわかりづらい。
- 新聞のインタビュー記事との違いを感じた。行き当たりばつたりではなく、予め質問項目くらいは準備した方が良いのではないかと。人によっては宣伝のように感じる方がいた。人選は今後の課題。こんな方がいるという紹介を続けてほしい。
- タギルという番組タイトルに沿った話になると良い。相手を深く知って細かく紹介できるように何を聞くかをもっと研究して欲しい。ラジオの向こうにいる方を想像して質問を渡すともっと良い。とても良いコーナーなのでもっといい。
- コンセプトはとても良い。人選が大切でありゲストがどのような方か、初めに紹介するとわかりやすい。ゲストのタギルポイントがどこなのかわかるように質問と良い。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(令和元年11月24日(日) 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(令和元年11月26日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(令和元年11月26日～)

以上